

ボルネオ旅行ではお世話になりなした。以下、感想を簡単に記します。

1. 「13日間のボルネオ旅行は、アクティビティの種類が少ないので退屈ではないか」と心配されていましたが、結果として、その心配は無用でした。むしろもっと長期間でも良かったかなと感じます。ボルネオの自然はアフリカなどと違って、すぐに野生生物が見つかる訳ではないので、3時間のジャングル・ウォークでめぼしい物がほとんど何も見つからないということも何度かありました。このことで、不平を漏らす外国人もいて、その夜はもう出かけずにロッジで休息していました。これは考え違いでしょう。実際にその夜、ニシメガネザルに遭遇しました。たとえウォーキングのコースが毎日同じであっても退屈はしません。
2. ラマダンの月に当たり、民泊が出来なかったのは残念でしたが、ガイドやロッジの従業員にもイスラム教徒がたくさんいて、話を聞くことができ良かった。喫煙者がやたらに多いのに驚きました。酒を禁じられている上にラマダン月なので、ストレスが溜まるのでしょうか。
3. 野生のオランウータンは、3頭+親子1組=計5頭に遭遇しました。13日間で5頭だけと考えるか、5頭もと考えるか。私は5頭もと考えます。リハビリテーションセンターのオランウータンとは明らかに動き・表情が違います。ニシメガネザルも2頭会いました。大変幸運でした。
4. アバイ。  
河口近くなので、マングローブの木にホタルの大群はきれいだった。1泊では忙しい。ガイドの知識は十分。野生のオランウータンを見たいと言っておいたら、忘れずに探してくれて、遂に出発直前に見つけてくれた。食事は毎回同じ物。宿泊設備も特に問題なし。
5. スカウ・リゾート。  
ロッジの位置が良い。内部は未完成で、ジャグジーがあったが使用不可。必要ないとも思うけれど、あれば使うだろうな。最上階が樹木の上まで伸びているのは、グッド・アイデア。寝る前に楽しい時間を持てる。食事は、必要にして十分。連泊の客に、毎日少しずつ変えてくれた。気遣いが嬉しい。私が釣った魚や、川辺で採ってきた野菜を料理してくれた。他所では無理でしょう。ここではアクティビティの種類によって複数のガイドが分担している。メインはAmingさん。この時期、ボルネオゾウは見るチャンスはほとんど無いとのことだが、最後まで情報収集をしてくれた。ガイドの英語はもう少し勉強の必要があるだろうが、通じる。リバー・クルーズで案内したガイドは生物を見つける眼力はすごい、もう少し説明が必要。英語力の問題のように思えた。私も事前に勉強して多少の基礎知識はあるが、やはり現地ならではの説明も欲しい。川の民・オランスンガイ訪問はあまり意味を感じなかった。全体として多少の不備はあるが、ここの従業員は皆感じが良い。ファミリー的雰囲気あり。

## 6. タビン

スカウに比べると、組織的にはしっかりしている。ガイドは James. 滞在中変わらない。James は鳥の専門家。私の場合、鳥は眺める程度。あまり熱心なバード・ウォッチャーではないので、何度も同じ鳥の名前を聞き直したが、面倒くさがらずに教えてくれた。ある1日は、シンガポールから来たタビンの主のような長期滞在の男性と私だけだったので、朝5時から11時まで鳥だけを追いかけたウォーキングで少々うんざりした。バード・ウォッチャーは1カ所に立ち止まって、鳥が来るのを長時間じっと待つので、動かないのにかえってくたびれた。ただ、この人はすごく性格が良いので腹は立たなかった。その他の日は、私一人だったので、ゆっくり森の中を歩けた。最後の夜、マッド・ボルケーノ展望台でのハンモック泊は良かった。この1泊だけで、ヤマネコを3種5匹見ることが出来た。初日にボルネオゾウの群れに出くわしたのもラッキーだった。ガイドの対応・知識・英語力は問題なし。食事は毎回同じ。宿泊設備も必要にして十分。後で気付いたのだが、フットバスを忘れられた。

## 7. ダナンバレー 26 AUG ~ 9 AUG

ラハダトゥーを早朝発ったお陰で、途中ボルネオゾウの群れに遭遇。行く前にはどうしてこんなに早朝出発するのか理解できなかったが、これで理由が判明。プランに感謝。朝食もお弁当ではなく、ロッジ着後。宿泊客と一緒に。ゆっくり食べられた。ガイドは Yoktan. かなり優秀。知識・英語力・眼力ともに一流。ここは動物の生息密度が今までよりも濃いような気がする。組織はがっちりしていて、すべてがきちんと流れていく。オランウータンはここだけで3頭。1頭は毎日見ることが出来た。夕食中、あるガイドがニシメガネザルを発見して、報せてくれた。我々が到着するまでの約1時間もの間ずっとそのメガネザルを見張っていてくれた。プロ意識・サービス精神には感心した。宿泊設備は十分。スタンダードで文句なし。食事は毎回同じ。ただし、生野菜が出されたのはここだけ。嬉しかった。

全体的に、特に不満はありません。敢えて言えば、タビン、特にダナンバレーは全体が非常に機能的に動いていて、ガイドは総じて優秀、親切、従業員は礼儀正しい。ツアーリストにとっては文句なしなのだが、あまりに機能的なゆえに、多少ビジネスライクな感じがしないでもない。その点、多少抜けたところがあるスカウは、かえってビジネス臭が無く、個人的な心の交流が他よりあるような、ぬくもりを感じた。今よりもアクティビティやガイドの質を上げて、雰囲気をおのま残して欲しい。もし項目を設けて各リゾートのアンケートをとれば、おそらくダナンバレーが1位になるでしょう。然し数字の一人歩きは怖い。数字に表れない魅力的な空気がスカウにはありそう。彼らの、営業用でない純朴な微笑みが忘れられない。

私は食べものについては、どこに行っても何も文句は言わないが、それでも油っこい。